

令和2年国勢調査

移動人口の男女・年齢等集計結果

宮城県の集計結果

結果の概要

目次

結果の解説

I 宮城県の移動人口	1
1 5年前の常住地別人口	1
2 年齢, 男女別移動人口	4
3 転入・転出の状況	7
4 年齢, 男女別転入・転出の状況	13
II 市町村の移動人口	15
1 5年前の常住地別人口	15
2 市町村の転入・転出の状況	18
3 広域圏の転入・転出の状況	21
4 広域圏の年齢別転入・転出の状況	23
5 市町村間の移動人口	25

令和4年5月

宮城県企画部統計課

－利用上の注意－

報告書について

本報告書は、令和4年2月28日に総務省統計局が公表した「移動人口の男女・年齢等集計結果」のうち、宮城県に係る主要な結果をまとめたものです。

なお、本報告書の数値は、各項目の集計結果に「不詳」が含まれる場合、「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」を用いて記載しています。

※不詳補完値について

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&lid=000001283576>

全国結果等詳細な結果については、総務省統計局ホームページをご覧ください。

総務省統計局HP <https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/kekka.html>

数値の見方

本文及び図表の数値は、その表章単位に合わせて公表数値を四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しない。ただし、増減数、増減率、転入・転出超過数及び転入・転出超過率は公表数値から算出している。

市町村表章について

本報告書は、令和2年10月1日現在の市町村境域により表章している。

(富谷市は平成28年10月10日市制施行により富谷町から富谷市になったが、本報告書では平成27年の数値についても富谷市として表章している。)

問合せ先

宮城県企画部 統計課 人口生活班

〒980-8570 (専用郵便番号)

宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号

TEL：022-211-2455 (直通)

FAX：022-211-2498

Eメール：toukeij@pref.miyagi.lg.jp

統計課ホームページ

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/toukei>

この報告書は、次のURLからダウンロードできます。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/toukei/kokusei2020-idou.html>

移動人口の男女・年齢等集計とは

移動人口の男女・年齢等集計は、全ての調査票を用いて、平成27年国勢調査時の常住地（5年前の常住地）と令和2年国勢調査時の常住地を比較することにより、人口の転出入状況について男女・年齢別等に集計したものである。

用語の解説

人口

国勢調査における人口は「常住人口」であり、常住者とは調査時（令和2年10月1日）に調査の地域に常住している者をいう。

5年前の常住地

5年前（平成27年10月1日）にふだん住んでいた市区町村をいい、次のとおり区分したものである。また、5歳未満の者については、出生後にふだん住んでいた場所による。

総数（常住者）	調査時に当該地域に常住している者
現住所	常住者のうち、5年前の常住地が調査時の常住地と同じ者
現住所以外（移動人口）	常住者のうち、5年前の常住地が現住所以外の者
国内	常住者のうち、5年前の常住地が現住所以外の者の日本国内の者
自市区町村内	常住者のうち、5年前の常住地が同じ市区町村内の他の場所の者（21大都市の場合は、同じ区内の他の場所の者）
自市内他区	21大都市の常住者のうち、5年前の常住地が同じ市内又は東京都特別区内で他の区の者
県内他市区町村	常住者のうち、5年前の常住地が同じ都道府県内の他市区町村の者
他県	常住者のうち、5年前の常住地が他の都道府県の者
国外	常住者のうち、5年前の常住地が外国の者

注)21大都市とは、東京都特別区部及び政令指定都市をいう。

転入者

当該地域に常住している者のうち、5年前は当該地域以外に常住していた者をいう。

例)宮城県への転入者は、上記区分のうち「他県」又は「国外」に常住していた者

ある市への転入者は、上記区分のうち「県内他市区町村」、「他県」又は「国外」に常住していた者

転出者

5年前は当該地域に常住していた者のうち、調査時は当該地域以外に常住している者をいう。

転入・転出超過数

転入者数から転出者数を差し引いた数

転入・転出超過率

総数（常住者）に占める転入・転出超過数の割合

その他の用語

その他の用語は、「令和2年国勢調査 調査結果の利用案内—ユーザーズガイド—」を参照。

<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/kekka/sankou.html>（総務省統計局HP）

結果の解説

I 宮城県の移動人口

1 5年前の常住地別人口

**移動人口は総人口（常住者）の24.8%を占め平成27年と比べ2.3ポイント低下
総人口の約4分の1が5年間で住所を移動**

令和2年国勢調査による宮城県の人口（230万1996人）を5年前に住んでいた場所（以下「5年前の常住地」という。）別にみると、5年前と同じ場所に住んでいる者（以下「現住所」という。）は173万1015人（総人口の75.2%）となっている。

一方、現住所以外に住んでいた移動人口（以下「移動人口」という。）は57万981人（同24.8%）で総人口の約4分の1がこの5年間に住所を移動している。平成27年と比べると、移動人口は6万1464人減少し、移動の割合は27.1%から24.8%へ2.3ポイント低下している。

移動人口を5年前の常住地別にみると、「自市町村内」が28万2842人（総人口の12.3%）と最も多く、次いで、「他県」が16万2717人（同7.1%）、「県内他市町村」が11万3990人（同5.0%）、「国外」が1万1432人（同0.5%）となっている。

移動人口を男女別にみると、男性は28万8820人（男性人口の25.7%）、女性は28万2161人（女性人口の23.9%）となっており、移動の割合は男性の方が高くなっている。また、平成27年と比べると、男性（28.3%から25.7%へ2.6ポイント低下）、女性（26.0%から23.9%へ2.0ポイント低下）ともに低下している。

（図1，表1）

宮城県の移動人口の割合は全国6位

全国の5年前の常住地別人口の割合をみると、移動人口の割合は22.7%で平成27年の23.4%と比べ0.7ポイント低下している。

移動人口の割合を都道府県別にみると、東京都が30.0%と最も高く、次いで沖縄県（27.9%）、福岡県（26.9%）などとなっており、宮城県は24.8%で全国順位は6位となっている。

（表1，表2）

図1 5年前の常住地別人口の割合—宮城県（平成27年，令和2年）

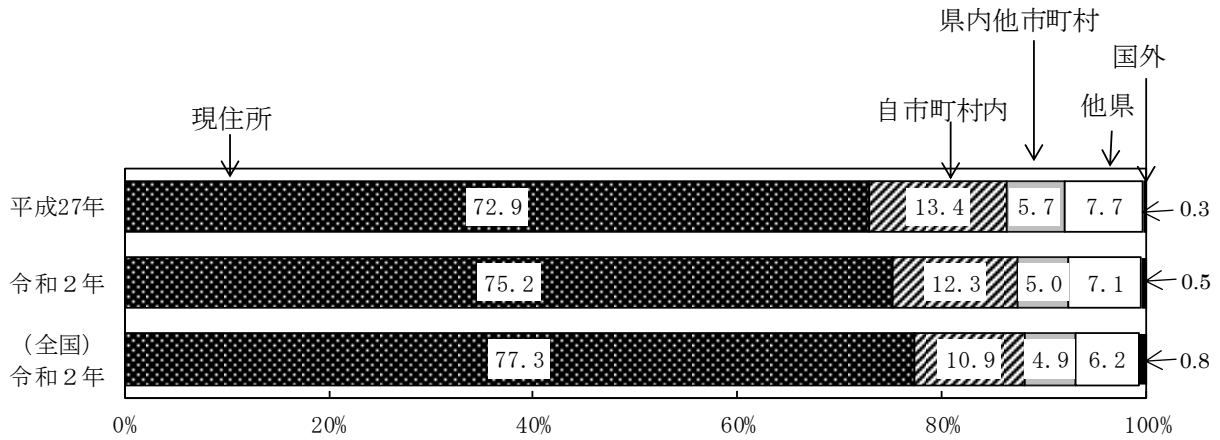


表1 5年前の常住地，男女別人口—宮城県（平成27年，令和2年）

年次，男女			常住者	現住所	現住所以外 (移動人口)	県内			転入	他県	国外	
						自市町村内	県内他市町村					
実数 (人)	令和2年	総数	2,301,996	1,731,015	570,981	396,832	282,842	113,990	174,149	162,717	11,432	
		男	1,122,598	833,778	288,820	187,263	131,573	55,690	101,557	95,873	5,684	
		女	1,179,398	897,237	282,161	209,569	151,269	58,300	72,592	66,844	5,748	
	平成27年	総数	2,333,899	1,701,454	632,445	446,165	313,771	132,394	186,280	178,641	7,639	
		男	1,140,167	817,547	322,620	211,657	147,704	63,953	110,963	106,963	4,000	
		女	1,193,732	883,907	309,825	234,508	166,067	68,441	75,317	71,678	3,639	
	(参考) 全国	令和2年	総数	126,146,099	97,474,410	28,671,689	—	13,707,048	6,140,086	—	7,789,262	1,035,293
		平成27年	総数	127,094,745	97,340,587	29,754,158	—	14,900,163	6,454,415	—	7,741,531	658,049
割合 (%)	令和2年	総数	100.0	75.2	24.8	17.2	12.3	5.0	7.6	7.1	0.5	
		男	100.0	74.3	25.7	16.7	11.7	5.0	9.0	8.5	0.5	
		女	100.0	76.1	23.9	17.8	12.8	4.9	6.2	5.7	0.5	
	平成27年	総数	100.0	72.9	27.1	19.1	13.4	5.7	8.0	7.7	0.3	
		男	100.0	71.7	28.3	18.6	13.0	5.6	9.7	9.4	0.4	
		女	100.0	74.0	26.0	19.6	13.9	5.7	6.3	6.0	0.3	
	(参考) 全国	令和2年	総数	100.0	77.3	22.7	—	10.9	4.9	—	6.2	0.8
		平成27年	総数	100.0	76.6	23.4	—	11.7	5.1	—	6.1	0.5
平成27年と 令和2年の差 (ポイント)	総数	男	—	2.3	-2.3	-1.9	-1.2	-0.7	-0.4	-0.6	0.2	
		女	—	2.6	-2.6	-1.9	-1.2	-0.6	-0.7	-0.8	0.2	
		女	—	2.0	-2.0	-1.9	-1.1	-0.8	-0.2	-0.3	0.2	
	(参考) 全国	総数	—	0.7	-0.7	—	-0.9	-0.2	—	0.1	0.3	

表2 5年前の常住地別人口の割合―都道府県（平成27年，令和2年）

(%)

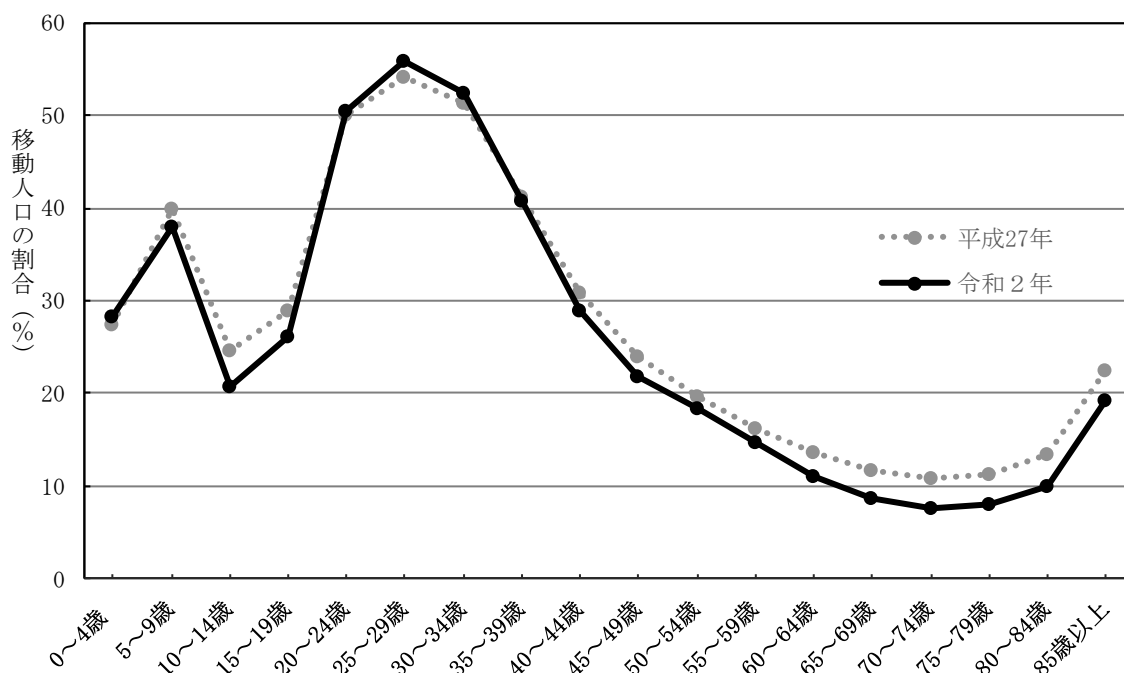
都道府県	令和2年											平成27年										
	常住者	現住所	現住所以外 (移動人口)		自県内	自市町村 村内	県内他 市町村	転入	転入			常住者	現住所	現住所以外 (移動人口)		自県内	自市町村 村内	県内他 市町村	転入	転入		
			順位	順位					他県	国外	順位			順位	他県					国外		
全 国	100.0	77.3	22.7	—	—	10.9	4.9	—	6.2	0.8	100.0	76.6	23.4	—	—	11.7	5.1	—	6.1	0.5		
北海道	100.0	75.0	25.0	5	21.6	13.6	7.9	3.4	2.9	0.5	100.0	73.9	26.1	6	23.0	14.8	8.3	3.1	2.8	0.3		
青森県	100.0	81.1	18.9	37	14.6	10.3	4.3	4.3	4.0	0.3	100.0	81.0	19.0	39	14.8	10.5	4.4	4.2	4.0	0.2		
岩手県	100.0	79.8	20.2	29	15.6	10.4	5.2	4.6	4.3	0.4	100.0	78.0	22.0	18	16.9	11.4	5.5	5.0	4.8	0.2		
宮城県	100.0	75.2	24.8	6	17.2	12.3	5.0	7.6	7.1	0.5	100.0	72.9	27.1	4	19.1	13.4	5.7	8.0	7.7	0.3		
秋田県	100.0	84.2	15.8	47	12.1	9.0	3.2	3.7	3.5	0.2	100.0	84.0	16.0	47	12.3	9.0	3.3	3.7	3.5	0.1		
山形県	100.0	82.9	17.1	44	13.0	8.7	4.3	4.1	3.7	0.4	100.0	82.7	17.3	44	13.1	8.8	4.3	4.2	4.0	0.2		
福島県	100.0	79.4	20.6	24	15.7	10.9	4.8	4.9	4.5	0.4	100.0	78.4	21.6	22	17.1	10.3	6.8	4.6	4.3	0.2		
茨城県	100.0	80.7	19.3	35	13.1	8.1	5.0	6.2	5.3	0.9	100.0	80.1	19.9	33	14.1	8.9	5.2	5.8	5.2	0.6		
栃木県	100.0	80.7	19.3	34	13.2	9.3	3.9	6.1	5.3	0.8	100.0	79.7	20.3	29	14.4	10.3	4.1	5.9	5.4	0.5		
群馬県	100.0	80.4	19.6	30	14.1	9.6	4.5	5.5	4.5	1.0	100.0	79.9	20.1	31	14.9	10.3	4.7	5.1	4.6	0.5		
埼玉県	100.0	78.9	21.1	20	13.1	7.8	5.3	8.0	7.3	0.7	100.0	78.1	21.9	19	14.3	8.9	5.5	7.6	7.2	0.4		
千葉県	100.0	77.9	22.1	15	13.6	8.2	5.4	8.6	7.8	0.8	100.0	77.7	22.3	17	14.7	9.2	5.6	7.5	7.0	0.5		
東京都	100.0	70.0	30.0	1	17.7	14.0	3.6	12.4	10.8	1.5	100.0	69.1	30.9	1	19.1	15.3	3.8	11.8	10.7	1.1		
神奈川県	100.0	76.1	23.9	9	15.3	11.0	4.3	8.6	7.7	0.8	100.0	74.9	25.1	7	16.7	12.2	4.5	8.3	7.7	0.6		
新潟県	100.0	82.7	17.3	43	13.7	9.9	3.8	3.5	3.2	0.4	100.0	82.2	17.8	42	14.2	10.3	3.8	3.6	3.4	0.2		
富山県	100.0	83.2	16.8	46	11.9	8.6	3.3	4.8	3.9	0.9	100.0	83.1	16.9	45	12.5	9.1	3.4	4.4	3.9	0.5		
石川県	100.0	79.7	20.3	28	13.8	9.2	4.6	6.5	5.8	0.8	100.0	79.2	20.8	28	14.7	9.9	4.7	6.1	5.6	0.5		
福井県	100.0	83.1	16.9	45	12.0	8.3	3.7	4.9	4.0	1.0	100.0	83.1	16.9	46	12.6	8.7	3.9	4.3	3.8	0.5		
山梨県	100.0	80.6	19.4	32	13.4	7.8	5.6	5.9	5.3	0.6	100.0	80.6	19.4	36	13.9	8.1	5.8	5.5	5.1	0.4		
長野県	100.0	80.7	19.3	33	14.5	8.9	5.6	4.8	4.2	0.6	100.0	80.3	19.7	35	15.1	9.3	5.8	4.6	4.2	0.4		
岐阜県	100.0	82.6	17.4	40	12.4	7.7	4.7	5.0	3.9	1.1	100.0	81.9	18.1	41	13.4	8.4	5.0	4.7	4.0	0.7		
静岡県	100.0	79.5	20.5	25	15.2	11.0	4.2	5.3	4.4	0.9	100.0	78.4	21.6	24	16.8	12.3	4.5	4.8	4.3	0.5		
愛知県	100.0	77.3	22.7	13	16.5	10.4	6.1	6.2	5.0	1.2	100.0	76.2	23.8	11	17.9	11.7	6.2	5.9	5.2	0.7		
三重県	100.0	81.7	18.3	39	12.7	8.5	4.2	5.6	4.5	1.1	100.0	80.9	19.1	38	13.7	9.3	4.4	5.4	4.7	0.6		
滋賀県	100.0	81.0	19.0	36	11.7	7.3	4.4	7.3	6.3	1.0	100.0	80.0	20.0	32	13.0	8.2	4.8	7.0	6.4	0.5		
京都府	100.0	78.2	21.8	16	13.3	10.2	3.0	8.6	7.7	0.9	100.0	77.3	22.7	15	14.3	11.3	3.0	8.4	7.8	0.6		
大阪府	100.0	76.6	23.4	10	16.4	11.0	5.4	6.9	6.2	0.8	100.0	76.3	23.7	12	17.6	12.1	5.5	6.1	5.7	0.4		
兵庫県	100.0	79.3	20.7	22	14.8	10.2	4.6	5.9	5.3	0.6	100.0	78.4	21.6	23	15.8	11.1	4.7	5.8	5.4	0.4		
奈良県	100.0	82.7	17.3	41	11.4	7.1	4.3	6.0	5.5	0.5	100.0	81.8	18.2	40	12.1	7.5	4.6	6.1	5.8	0.3		
和歌山県	100.0	82.7	17.3	42	13.6	9.8	3.9	3.7	3.4	0.3	100.0	82.3	17.7	43	14.0	10.0	4.0	3.7	3.5	0.2		
鳥取県	100.0	80.5	19.5	31	13.7	10.3	3.5	5.8	5.3	0.5	100.0	80.2	19.8	34	14.1	10.4	3.7	5.7	5.4	0.3		
島根県	100.0	79.5	20.5	26	14.5	10.9	3.5	6.1	5.3	0.7	100.0	79.8	20.2	30	14.5	10.9	3.6	5.7	5.3	0.4		
岡山県	100.0	78.5	21.5	18	15.3	11.3	4.1	6.1	5.3	0.8	100.0	78.1	21.9	20	15.8	11.7	4.1	6.0	5.6	0.5		
広島県	100.0	76.8	23.2	11	16.7	12.6	4.1	6.5	5.6	0.9	100.0	76.1	23.9	9	17.8	13.5	4.2	6.1	5.5	0.6		
山口県	100.0	78.4	21.6	17	16.1	11.8	4.3	5.6	5.0	0.6	100.0	77.5	22.5	16	17.1	12.6	4.5	5.4	5.1	0.3		
徳島県	100.0	81.6	18.4	38	14.0	9.0	5.0	4.4	3.9	0.5	100.0	80.7	19.3	37	14.5	9.3	5.2	4.7	4.4	0.4		
香川県	100.0	79.6	20.4	27	13.9	10.0	3.9	6.5	5.7	0.8	100.0	79.0	21.0	27	14.5	10.4	4.0	6.5	6.1	0.5		
愛媛県	100.0	79.2	20.8	21	15.8	11.8	4.0	5.0	4.3	0.6	100.0	78.3	21.7	21	17.0	12.8	4.2	4.7	4.3	0.5		
高知県	100.0	79.4	20.6	23	15.9	11.0	4.9	4.7	4.3	0.4	100.0	78.9	21.1	26	16.5	11.4	5.1	4.7	4.4	0.3		
福岡県	100.0	73.1	26.9	3	19.5	13.2	6.3	7.4	6.8	0.7	100.0	72.7	27.3	3	20.3	13.9	6.4	7.0	6.6	0.4		
佐賀県	100.0	78.6	21.4	19	15.0	10.8	4.2	6.4	5.9	0.5	100.0	78.8	21.2	25	15.0	10.8	4.2	6.2	5.9	0.3		
長崎県	100.0	77.6	22.4	14	17.2	12.4	4.7	5.2	4.8	0.4	100.0	77.0	23.0	14	17.7	12.8	4.8	5.4	4.9	0.4		
熊本県	100.0	75.9	24.1	7	18.7	13.3	5.4	5.4	4.8	0.6	100.0	76.3	23.7	13	18.4	12.9	5.6	5.3	5.0	0.3		
大分県	100.0	76.9	23.1	12	17.4	13.2	4.2	5.7	5.0	0.6	100.0	76.1	23.9	10	18.0	13.6	4.4	5.9	5.4	0.5		
宮崎県	100.0	76.1	23.9	8	18.6	14.0	4.5	5.4	4.9	0.5	100.0	75.2	24.8	8	19.4	14.7	4.7	5.4	5.2	0.2		
鹿児島県	100.0	74.4	25.6	4	20.3	14.3	6.0	5.2	4.7	0.5	100.0	73.6	26.4	5	21.2	14.9	6.3	5.1	4.9	0.2		
沖縄県	100.0	72.1	27.9	2	22.0	12.9	9.1	5.8	5.1	0.7	100.0	71.6	28.4	2	23.2	13.9	9.3	5.3	4.8	0.4		

2 年齢，男女別移動人口

移動人口の割合は，25～29歳が55.9%と最も高い

年齢5歳階級別人口に占める移動人口の割合をみると，25～29歳が55.9%と最も高く，次いで30～34歳（52.4%），20～24歳（50.5%）などとなっており，20歳代及び30歳代で移動人口の割合は高くなっている。（図2，表3）

図2 年齢（5歳階級）別移動人口の割合—宮城県（平成27年，令和2年）



移動人口の割合は男女ともに25～29歳で最も高い

男女ともに20～24歳では5年前の常住地が「他県」の者が最も高い

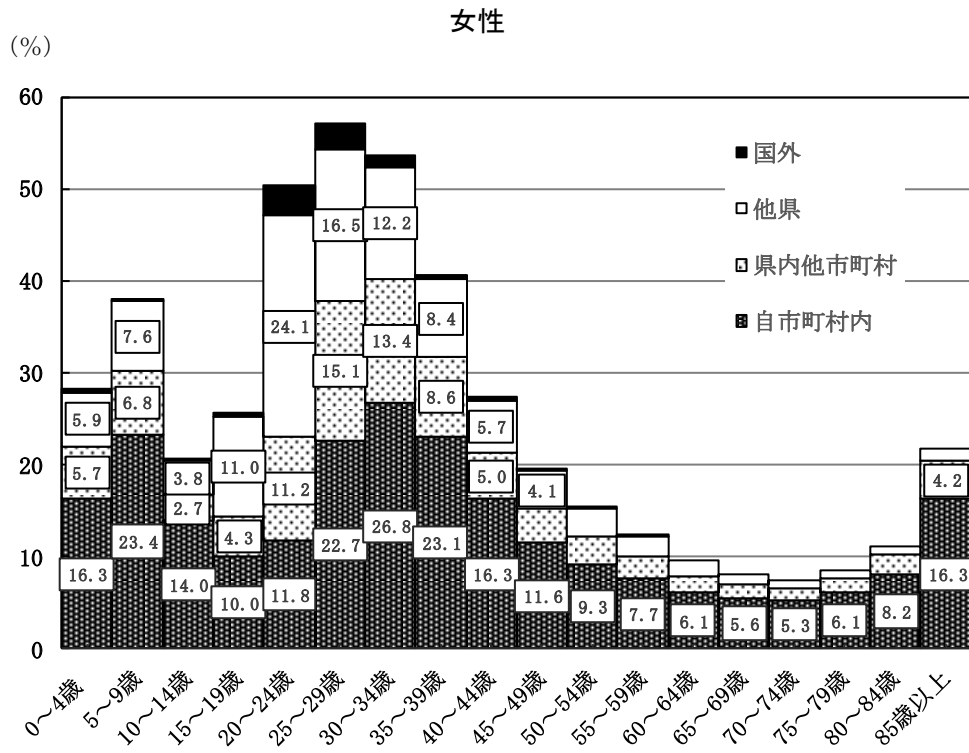
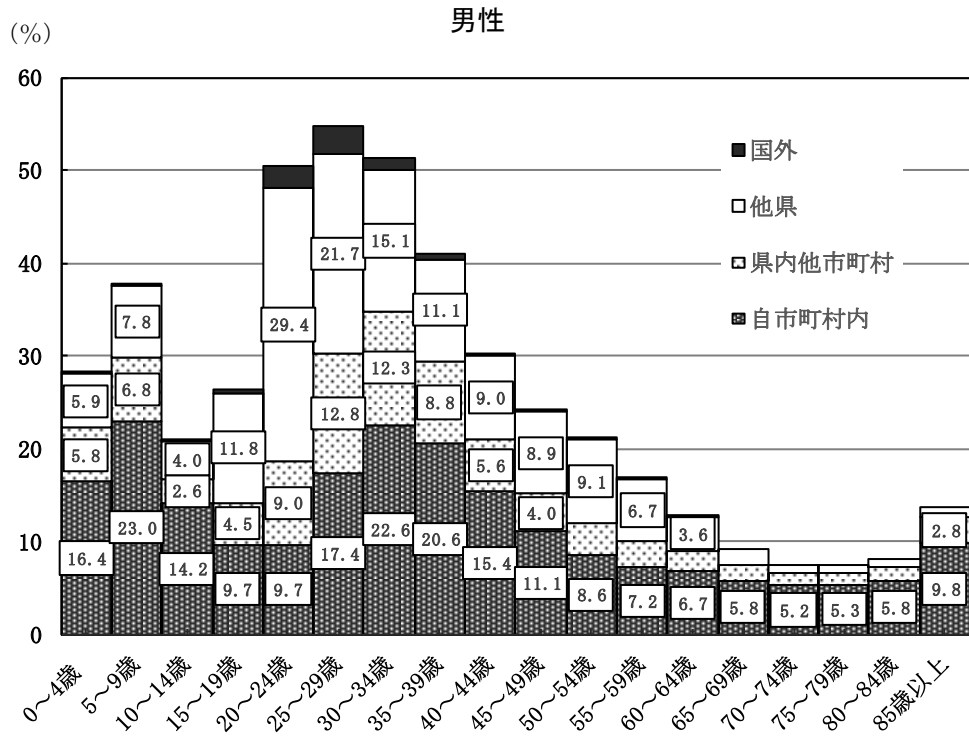
年齢5歳階級別人口に占める移動人口の割合を男女別にみると，男性は25～29歳が54.8%と最も高く，次いで30～34歳（51.4%），20～24歳（50.5%）などとなっている。女性は25～29歳が57.1%と最も高く，次いで30～34歳（53.5%），20～24歳（50.4%）などとなっている。

5年前の常住地別について，男女別に移動人口の割合をみると，男性は15～19歳，20歳代，50～54歳の年齢階級では「他県」の割合が最も高く，それ以外の年齢階級では「自市町村内」の割合が最も高くなっている。

一方，女性は15～19歳及び20～24歳で「他県」の割合が最も高く，それ以外の年齢階級では「自市町村内」の割合が最も高くなっている。

（図3，表3）

図3 5年前の常住地、年齢（5歳階級）、男女別移動人口の割合
 ー宮城県（令和2年）



3 転入・転出の状況

(1) 転入の状況

転入者数は17万4149人で平成27年と比べて1万2131人減少

宮城県への転入者数が最も多い都道府県は東京都

令和2年国勢調査による宮城県の人口（230万1996人）のうち、転入者数は17万4149人となっている。転入者数を平成27年と比べると1万2131人減少している。

転入者数を転入前の都道府県（5年前の常住都道府県）別にみると、東京都からの転入者数が1万9750人（他県からの転入者のうち12.1%）と最も多く、次いで岩手県が1万8471人（同11.4%）、福島県が1万6733人（同10.3%）などとなっている。また、東北5県からの転入者数は7万1223人と、他県からの転入者の43.8%を占めている。

宮城県への転入者数を都道府県別に平成27年と比較してみると、岩手県など7県で増加している。一方で、福島県、神奈川県など39都道府県で減少している。（図4、表4、表7）

表4 5年前の常住地別宮城県への転入者数（上位10位）

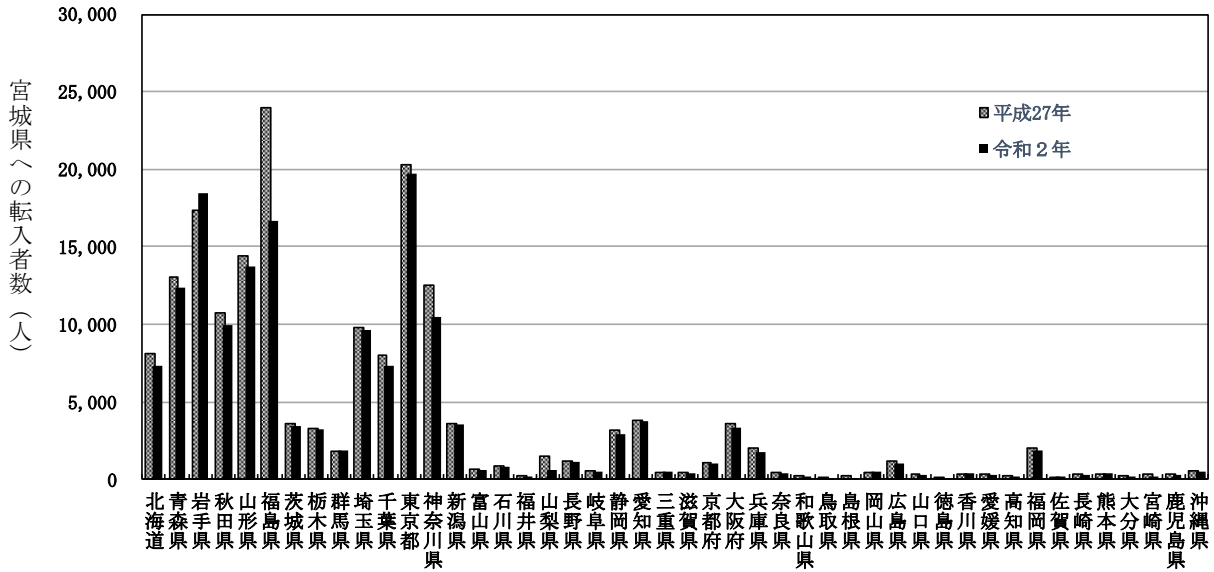
令和2年				平成27年			
順位	5年前の常住地 （転入元の 都道府県）	実数 （人）	転入者に 占める 割合 （%）	順位	5年前の常住地 （転入元の 都道府県）	実数 （人）	転入者に 占める 割合 （%）
1	東京都	19,750	12.1	1	福島県	23,998	13.4
2	岩手県	18,471	11.4	2	東京都	20,269	11.3
3	福島県	16,733	10.3	3	岩手県	17,348	9.7
4	山形県	13,757	8.5	4	山形県	14,377	8.0
5	青森県	12,326	7.6	5	青森県	13,045	7.3
6	神奈川県	10,471	6.4	6	神奈川県	12,558	7.0
7	秋田県	9,936	6.1	7	秋田県	10,723	6.0
8	埼玉県	9,658	5.9	8	埼玉県	9,790	5.5
9	北海道	7,341	4.5	9	北海道	8,134	4.6
10	千葉県	7,328	4.5	10	千葉県	8,048	4.5
（再掲）	東北5県	71,223	43.8	（再掲）	東北5県	79,491	44.5
	東京圏	47,207	29.0		東京圏	50,665	28.4
	大阪圏	6,590	4.0		大阪圏	7,069	4.0

注)

東京圏：埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県

大阪圏：京都府，大阪府，兵庫県，奈良県

図4 5年前の常住地別宮城県への転入者数—都道府県（平成27年，令和2年）



(2) 転出の状況

**転出者数は17万2727人で平成27年と比べて4613人増加
宮城県からの転出者数が最も多い都道府県は東京都**

転出者数は17万2727人で平成27年と比べて4613人増加している。

転出者数を転出先の都道府県（令和2年10月1日現在の現住都道府県）別にみると、東京都への転出者が3万7696人（転出者の21.8%）と最も多く、次いで神奈川県が1万6104人（同9.3%）、福島県が1万3788人（同8.0%）などとなっている。また、東京圏への転出者数は7万8628人と転出者の45.5%を占めている。

宮城県からの転出者数を都道府県別に平成27年と比較すると、岩手県，山形県，栃木県など16県で減少している。一方で、東京都，福島県，千葉県など30都道府県で増加している。

（図5，表5，表7）

表5 現住地別宮城県からの転出者数（上位10位）

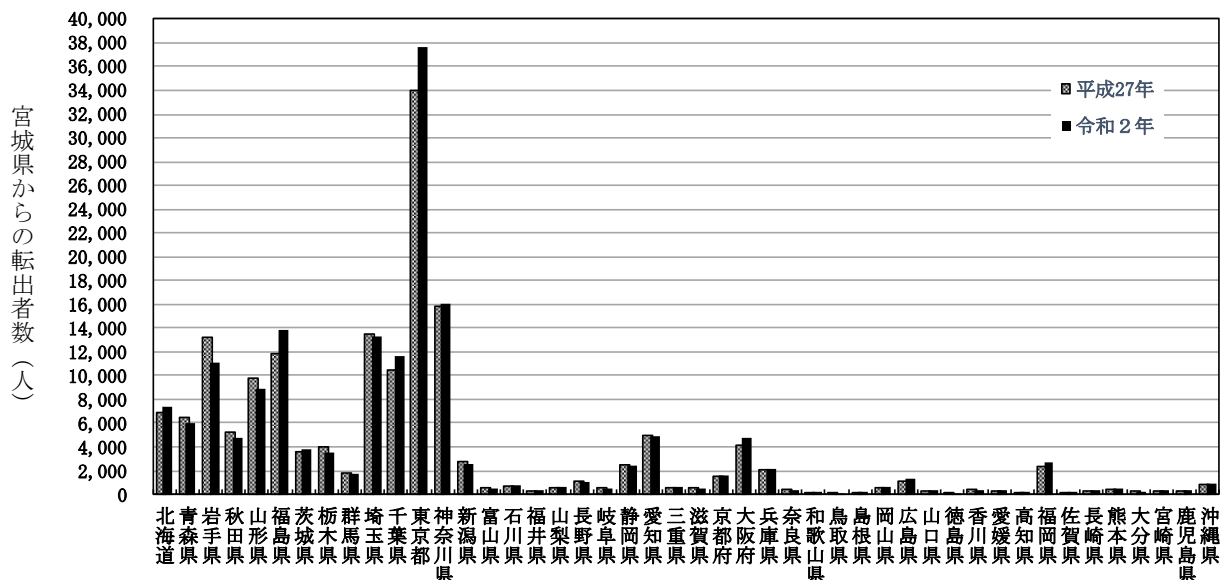
令和2年				平成27年			
順位	現住地 （転出先の 都道府県）	実数 （人）	転出者に 占める 割合 （%）	順位	現住地 （転出先の 都道府県）	実数 （人）	転出者に 占める 割合 （%）
1	東京都	37,696	21.8	1	東京都	33,996	20.2
2	神奈川県	16,104	9.3	2	神奈川県	15,770	9.4
3	福島県	13,788	8.0	3	埼玉県	13,537	8.1
4	埼玉県	13,234	7.7	4	岩手県	13,212	7.9
5	千葉県	11,594	6.7	5	福島県	11,835	7.0
6	岩手県	11,079	6.4	6	千葉県	10,474	6.2
7	山形県	8,941	5.2	7	山形県	9,772	5.8
8	北海道	7,419	4.3	8	北海道	6,868	4.1
9	青森県	6,008	3.5	9	青森県	6,472	3.8
10	愛知県	4,839	2.8	10	秋田県	5,240	3.1
（再掲）	東北5県	44,636	25.8	（再掲）	東北5県	46,531	27.7
	東京圏	78,628	45.5		東京圏	73,777	43.9
	大阪圏	9,015	5.2		大阪圏	8,284	4.9

注)

東京圏：埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県

大阪圏：京都府，大阪府，兵庫県，奈良県

図5 現住地別宮城県からの転出者数—都道府県（平成27年，令和2年）



(3) 転入・転出超過の状況

宮城県は1422人の転入超過で転入超過率は0.8%から0.1%へ縮小

宮城県の転入・転出超過数をみると、1422人の転入超過となり、転入超過数は平成27年の1万8166人から1万6744人減少し、転入超過率は0.8%から0.1%へ縮小している。

他の都道府県との間の転入・転出超過数をみると、岩手県、青森県、秋田県など13県との間で転入超過となっている。一方、東京都、神奈川県、千葉県など33都道府県との間で転出超過となっている。

宮城県と東北5県、東京圏及び大阪圏との間の転入・転出超過数についてみてみると、東北5県の間で転入超過となり、東京圏及び大阪圏との間で転出超過となっている。

(図6, 図7, 表6, 表7)

図6 宮城県と東北5県の転入・転出の状況

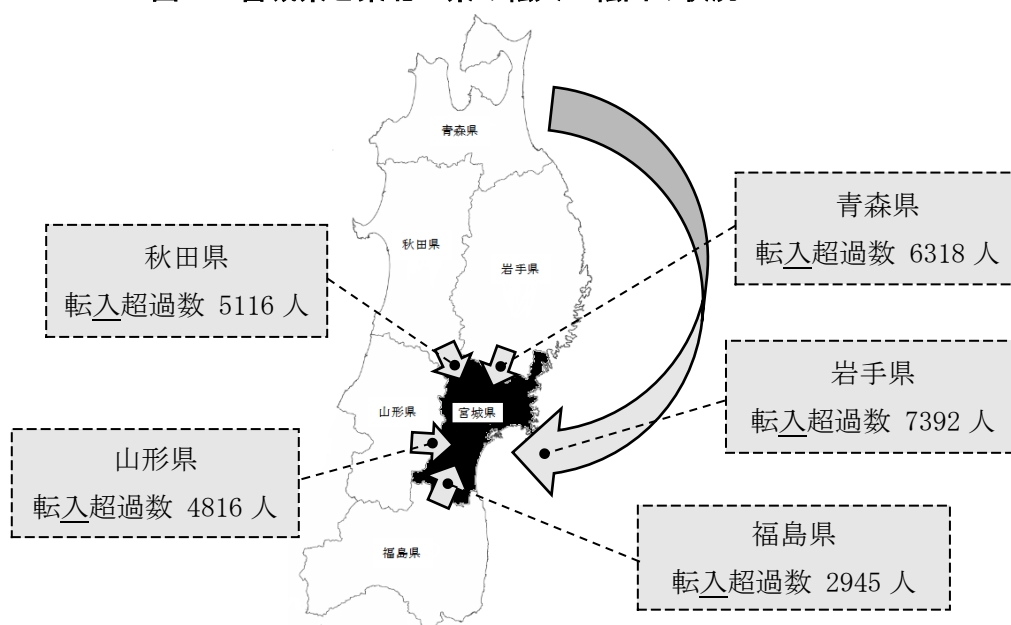
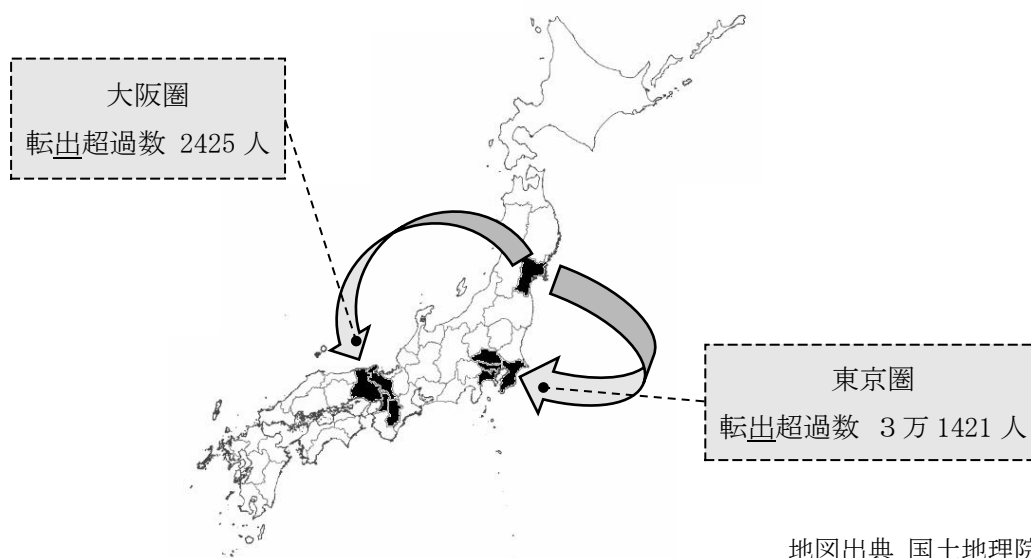


図7 宮城県と東京圏・大阪圏の転入・転出の状況



地図出典 国土地理院

表6 宮城県の転入者数、転出者数及び転入・転出超過数
 —東北5県、東京圏及び大阪圏（令和2年）

都府県	転入者数 (人)	転出者数 (人)	転入・転出超過数 (-は転出超過) (人)
(東北5県)	71,223	44,636	26,587
青森県	12,326	6,008	6,318
岩手県	18,471	11,079	7,392
秋田県	9,936	4,820	5,116
山形県	13,757	8,941	4,816
福島県	16,733	13,788	2,945
(東京圏)	47,207	78,628	-31,421
埼玉県	9,658	13,234	-3,576
千葉県	7,328	11,594	-4,266
東京都	19,750	37,696	-17,946
神奈川県	10,471	16,104	-5,633
(大阪圏)	6,590	9,015	-2,425
京都府	1,057	1,617	-560
大阪府	3,377	4,798	-1,421
兵庫県	1,779	2,205	-426
奈良県	377	395	-18

4 年齢，男女別転入・転出の状況

男女ともに転入者数は20～24歳で最も多く，転出者数は20歳代で最も多い
 20～24歳の転入者は東北地方からの転入が多い
 20歳代の転出者は東京圏及び福島県への転出が多い

転入者数及び転出者数を年齢（5歳階級），男女別にみると，男女ともに転入者数は20～24歳で最も多く，転出者数は20歳代で最も多くなっている。

転入者数の最も多い20～24歳について，転入元の都道府県をみると，男女ともに岩手県が最も多く，次いで福島県，山形県など東北地方からの転入が多くなっている。また，転出者数の最も多い20歳代について，転出先の都道府県をみると，男女ともに東京都，神奈川県，千葉県，埼玉県及び隣接する福島県への転出が多くなっている。

（図8，表8）

図8 年齢（5歳階級），男女別転入者数及び転出者数－宮城県（令和2年）

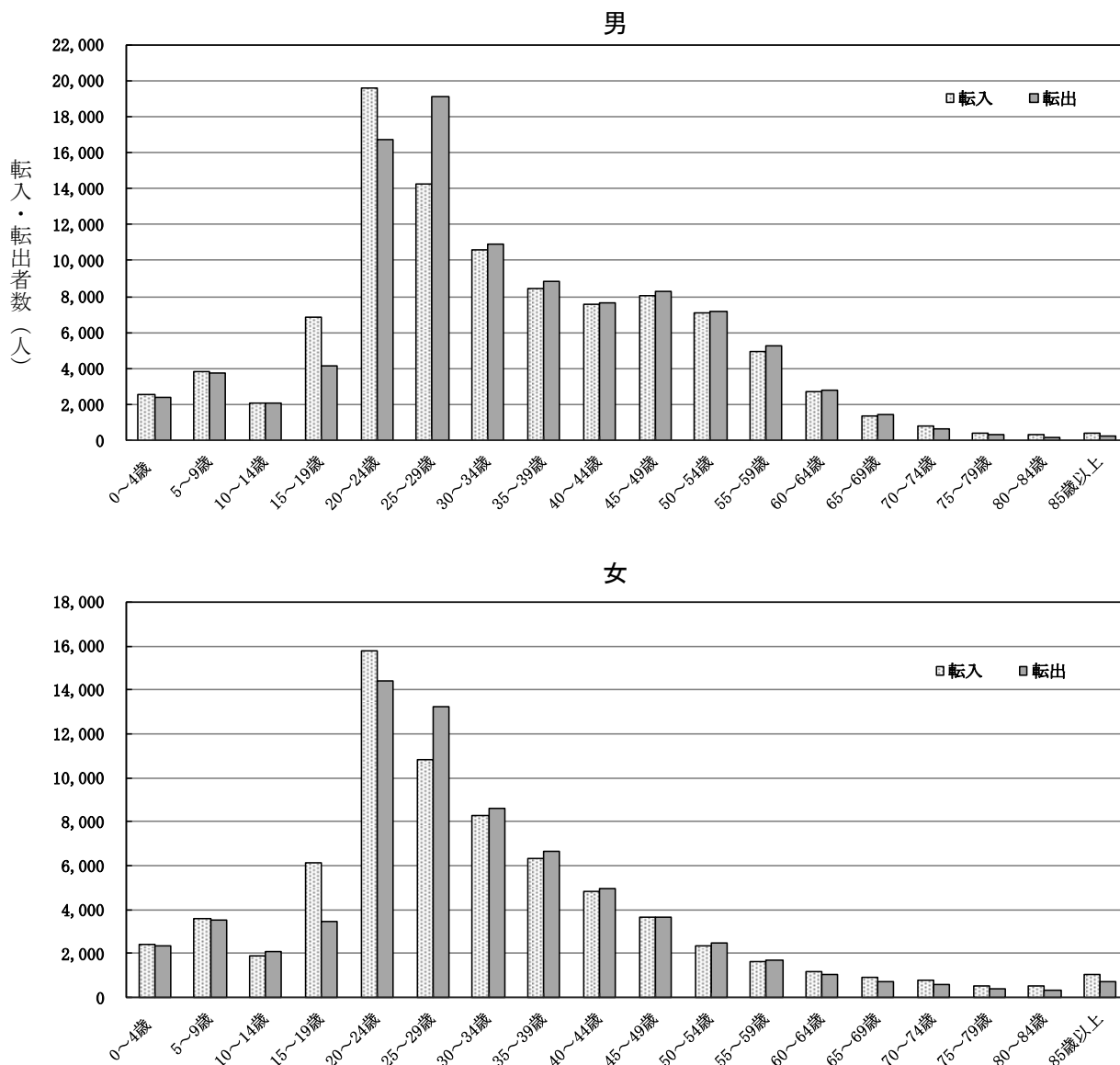


表8 年齢（5歳階級），男女別人口における転入者数・転出者数及び転入・転出超過数
—宮城県（令和2年）

男女，年齢階級	転入者数 (人)	主な転入元の都道府県（上位5位）					転出者数 (人)	主な転出先の都道府県（上位5位）					転入・転出 超過数 (-は転出超過) (人)
		東京都	岩手県	福島県	山形県	神奈川県		東京都	神奈川県	福島県	埼玉県	岩手県	
男													
総数 1)	101,557	12,289	9,410	9,119	6,870	6,858	101,956	20,782	8,935	8,615	7,247	6,616	-399
0～4歳	2,545	380	225	212	172	164	2,411	342	200	198	189	176	134
5～9歳	3,831	502	354	342	282	252	3,737	539	332	295	280	276	94
10～14歳	2,067	215	191	148	146	143	2,087	327	202	169	167	134	-20
15～19歳	6,855	927	863	844	819	724	4,107	804	386	373	329	316	2,748
20～24歳	19,581	2,290	1,981	1,796	1,719	1,470	16,734	4,186	1,904	1,326	1,264	1,204	2,847
25～29歳	14,245	1,932	1,101	1,093	1,084	931	19,158	4,638	2,091	1,421	1,246	1,184	-4,913
30～34歳	10,615	1,592	1,020	802	738	666	10,942	2,398	915	834	820	618	-327
35～39歳	8,448	1,323	742	684	591	527	8,852	1,707	757	682	671	621	-404
40～44歳	7,535	1,111	664	603	580	525	7,667	1,437	689	571	527	519	-132
45～49歳	8,037	1,163	651	638	607	599	8,290	1,471	769	588	579	562	-253
50～54歳	7,059	1,054	638	572	503	490	7,183	1,246	638	495	477	461	-124
55～59歳	4,909	698	477	406	373	362	5,233	960	554	361	358	325	-324
60～64歳	2,667	377	261	261	228	204	2,804	426	415	214	200	153	-137
65～69歳	1,347	238	142	123	117	116	1,395	211	152	129	81	71	-48
70～74歳	786	131	89	84	82	58	648	84	62	61	45	44	138
75～79歳	399	54	50	46	36	35	294	35	34	30	29	26	105
80～84歳	268	43	42	42	25	19	176	27	20	20	17	13	92
85歳以上	363	77	64	38	26	21	238	37	36	32	23	19	125
女													
総数 1)	72,592	9,061	7,614	7,461	6,887	5,846	70,771	16,914	7,169	5,987	5,173	5,103	1,821
0～4歳	2,389	333	257	236	178	158	2,335	358	211	189	182	176	54
5～9歳	3,557	411	316	312	258	244	3,535	489	294	289	274	263	22
10～14歳	1,885	193	154	147	131	124	2,062	340	192	164	140	140	-177
15～19歳	6,121	1,086	939	902	901	869	3,454	927	414	310	252	251	2,667
20～24歳	15,767	2,564	2,050	1,990	1,879	1,683	14,395	4,567	1,905	1,332	1,078	835	1,372
25～29歳	10,834	1,292	1,232	1,046	960	642	13,221	3,698	1,391	1,147	1,010	946	-2,387
30～34歳	8,291	1,282	852	814	645	500	8,582	1,962	806	744	699	552	-291
35～39歳	6,331	979	571	555	467	390	6,639	1,281	563	549	533	476	-308
40～44歳	4,794	632	460	367	354	329	4,941	986	397	390	388	361	-147
45～49歳	3,655	438	358	303	289	244	3,628	747	334	307	250	236	27
50～54歳	2,342	282	274	244	169	166	2,506	587	228	219	184	164	-164
55～59歳	1,649	250	203	138	133	115	1,679	374	142	139	136	110	-30
60～64歳	1,204	188	134	116	93	91	1,042	177	105	96	95	80	162
65～69歳	897	151	107	84	70	67	710	82	77	77	56	54	187
70～74歳	748	103	100	74	67	62	575	97	71	46	46	44	173
75～79歳	549	82	73	68	42	37	412	67	47	39	38	34	137
80～84歳	524	104	81	66	38	36	334	50	43	38	28	28	190
85歳以上	1,055	219	200	101	96	57	721	130	99	91	74	60	334

Ⅱ 市町村の移動人口

1 5年前の常住地別人口

移動人口の割合は、女川町が51.0%と最も高い

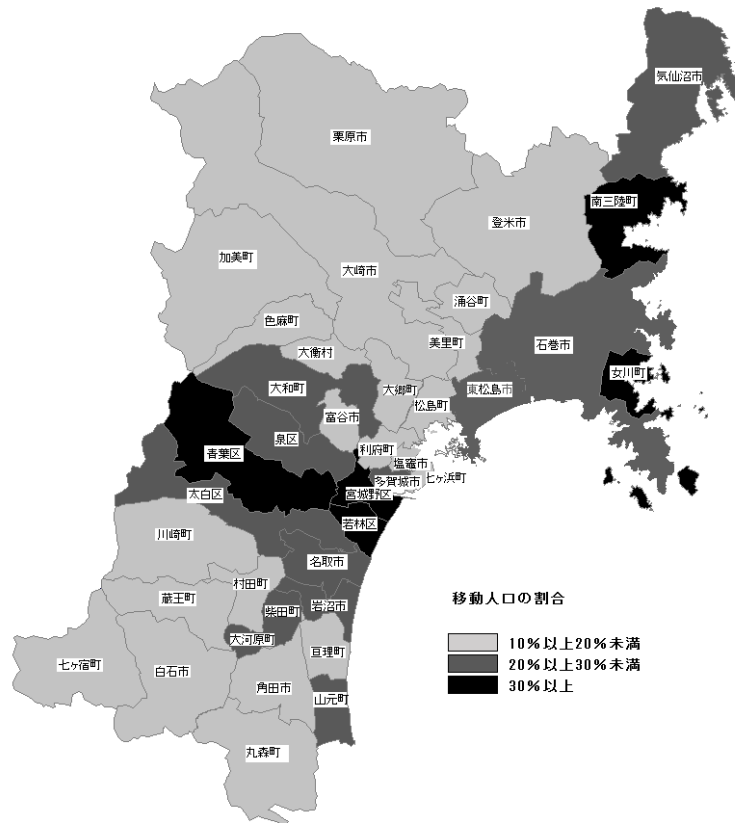
市町村別に5年前の常住地別人口の割合をみると、移動人口の割合は、女川町が51.0%と最も高く、次いで南三陸町(31.7%)、仙台市(30.6%)などとなっている。一方、現住所は、丸森町が89.9%と最も高く、次いで蔵王町(89.5%)、加美町(88.2%)などとなっている。

移動人口の割合について、5年前の常住地別にみると、「自市区町村内」は女川町が29.5%と最も高く、次いで、南三陸町(21.2%)、石巻市(16.4%)などとなっている。また、「県内他市区町村」は、女川町が13.4%と最も高く、次いで多賀城市(10.6%)、名取市(10.5%)などとなっている。「他県」は、仙台市が11.2%と最も高く、次いで多賀城市(7.0%)、柴田町(6.6%)などとなっている。

(図9, 表9)

図9 移動人口の割合—市町村（平成27年，令和2年）

令和2年



平成27年

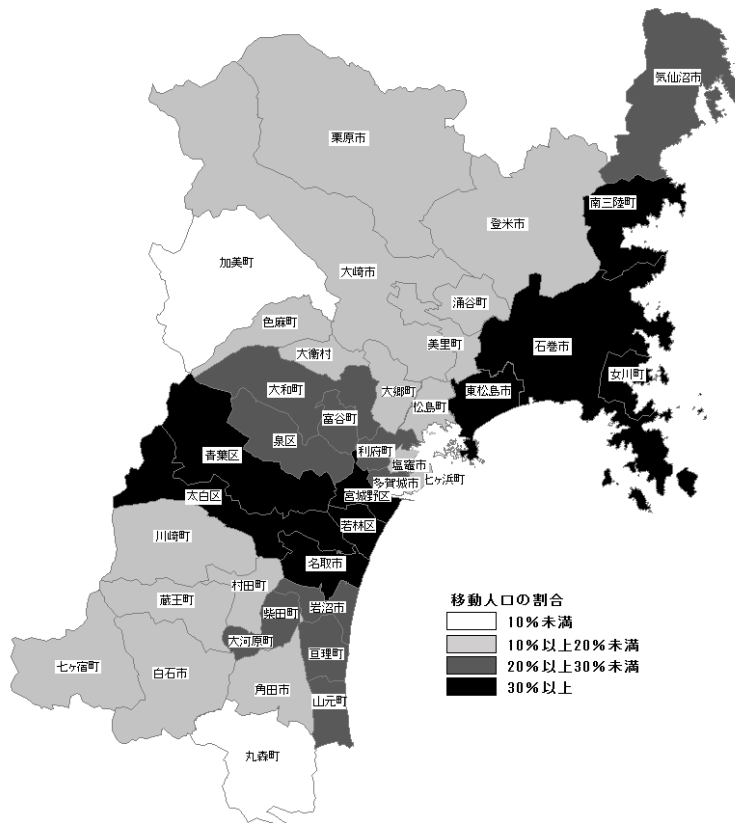


表9 5年前の常住地別人口の割合—市町村（平成27年，令和2年）

市町村	令和2年									平成27年								
	割合（％）									割合（％）								
	常住者	現住所	現住所 以外 (移動 人口)	自市区 町村内	転入	自市内 他区	県内他 市区町村	他県	国外	常住者	現住所	現住所 以外 (移動 人口)	自市区 町村内	転入	自市内 他区	県内他 市区町村	他県	国外
仙 台 市	100.0	69.4	30.6	15.5	15.1	—	3.3	11.2	0.6	100.0	67.6	32.4	15.9	16.5	—	4.0	12.1	0.5
（青葉区）	100.0	66.4	33.6	10.6	23.0	4.8	2.9	14.2	1.1	100.0	63.7	36.3	10.7	25.6	5.3	3.6	15.6	1.0
（宮城野区）	100.0	66.7	33.3	10.7	22.5	6.0	4.2	11.8	0.5	100.0	65.6	34.4	12.1	22.4	5.7	4.9	11.5	0.3
（若林区）	100.0	67.0	33.0	10.2	22.8	7.6	3.2	11.4	0.4	100.0	66.7	33.3	12.2	21.2	6.3	3.6	10.9	0.3
（太白区）	100.0	70.4	29.6	11.2	18.4	4.8	3.5	9.8	0.3	100.0	69.6	30.4	10.9	19.5	4.6	4.1	10.6	0.2
（泉区）	100.0	76.7	23.3	7.9	15.4	4.5	3.0	7.7	0.3	100.0	73.4	26.6	8.2	18.4	5.0	3.7	9.6	0.2
石 巻 市	100.0	75.6	24.4	16.4	8.0	—	4.4	3.0	0.7	100.0	68.2	31.8	23.0	8.8	—	4.9	3.6	0.3
塩 竈 市	100.0	81.4	18.6	7.8	10.8	—	7.8	2.2	0.8	100.0	80.4	19.6	8.5	11.1	—	8.1	2.6	0.3
気 仙 沼 市	100.0	77.2	22.8	15.2	7.6	—	3.2	3.5	0.8	100.0	72.5	27.5	21.2	6.3	—	2.8	3.3	0.2
白 石 市	100.0	85.3	14.7	8.1	6.7	—	3.9	2.3	0.4	100.0	84.0	16.0	8.4	7.6	—	4.5	3.0	0.1
名 取 市	100.0	75.6	24.4	8.2	16.2	—	10.5	5.5	0.2	100.0	69.6	30.4	11.2	19.3	—	12.3	6.7	0.2
角 田 市	100.0	84.9	15.1	7.5	7.6	—	5.0	2.2	0.4	100.0	84.7	15.3	6.6	8.7	—	5.7	2.8	0.2
多 賀 城 市	100.0	73.0	27.0	9.0	18.0	—	10.6	7.0	0.4	100.0	70.8	29.2	10.4	18.8	—	10.9	7.6	0.3
岩 沼 市	100.0	78.6	21.4	7.6	13.8	—	8.8	4.5	0.5	100.0	73.7	26.3	10.6	15.8	—	9.4	6.2	0.2
登 米 市	100.0	87.1	12.9	8.0	4.9	—	3.0	1.7	0.2	100.0	85.8	14.2	6.7	7.6	—	5.7	1.8	0.1
栗 原 市	100.0	87.3	12.7	7.1	5.5	—	3.1	2.0	0.5	100.0	88.5	11.5	6.4	5.2	—	3.0	2.0	0.2
東 松 島 市	100.0	74.9	25.1	12.8	12.4	—	8.2	3.9	0.2	100.0	69.0	31.0	17.8	13.3	—	8.7	4.5	0.1
大 崎 市	100.0	81.1	18.9	10.5	8.4	—	4.9	3.2	0.3	100.0	80.9	19.1	9.7	9.4	—	5.6	3.5	0.3
富 谷 市	100.0	83.5	16.5	4.4	12.1	—	8.3	3.6	0.3	100.0	78.3	21.7	4.5	17.3	—	12.1	5.1	0.1
蔵 王 町	100.0	89.5	10.5	3.9	6.5	—	4.7	1.5	0.4	100.0	87.6	12.4	4.4	8.1	—	5.9	2.1	0.2
七 ヶ 宿 町	100.0	83.0	17.0	3.6	13.4	—	5.6	6.3	1.5	100.0	87.7	12.3	3.0	9.3	—	4.9	4.3	0.1
大 河 原 町	100.0	78.1	21.9	8.7	13.2	—	9.9	3.0	0.3	100.0	77.6	22.4	8.5	13.9	—	9.7	4.0	0.1
村 田 町	100.0	87.7	12.3	4.3	8.0	—	6.3	1.4	0.3	100.0	87.4	12.6	4.9	7.7	—	5.7	1.9	0.2
柴 田 町	100.0	77.5	22.5	7.6	14.9	—	8.1	6.6	0.2	100.0	76.1	23.9	8.2	15.7	—	8.5	7.0	0.2
川 崎 町	100.0	87.7	12.3	5.2	7.1	—	4.2	1.6	1.3	100.0	89.1	10.9	4.7	6.1	—	4.3	1.8	0.0
丸 森 町	100.0	89.9	10.1	5.9	4.2	—	2.5	1.2	0.5	100.0	91.0	9.0	4.0	5.0	—	3.0	1.8	0.2
亘 理 町	100.0	83.1	16.9	6.8	10.1	—	7.2	2.7	0.2	100.0	75.1	24.9	13.6	11.3	—	7.6	3.7	0.1
山 元 町	100.0	79.8	20.2	8.2	12.0	—	8.1	3.7	0.2	100.0	72.6	27.4	19.0	8.4	—	4.0	4.2	0.1
松 島 町	100.0	86.5	13.5	5.3	8.2	—	6.1	1.8	0.2	100.0	82.7	17.3	6.4	10.8	—	8.5	2.2	0.1
七 ヶ 浜 町	100.0	84.0	16.0	6.4	9.6	—	7.6	1.8	0.2	100.0	81.6	18.4	10.8	7.6	—	5.7	1.9	0.1
利 府 町	100.0	82.6	17.4	5.2	12.2	—	9.1	2.9	0.2	100.0	79.2	20.8	4.9	15.9	—	12.0	3.8	0.1
大 和 町	100.0	77.1	22.9	6.1	16.8	—	10.2	5.6	1.0	100.0	71.8	28.2	6.2	22.0	—	14.1	7.6	0.3
大 郷 町	100.0	86.2	13.8	6.2	7.6	—	5.9	1.0	0.7	100.0	88.7	11.3	4.2	7.0	—	5.5	1.4	0.2
大 衡 村	100.0	83.5	16.5	4.4	12.1	—	9.5	2.0	0.7	100.0	80.8	19.2	4.4	14.7	—	10.7	3.5	0.5
色 麻 町	100.0	87.6	12.4	3.7	8.8	—	7.5	1.0	0.3	100.0	87.0	13.0	3.4	9.6	—	7.8	1.3	0.5
加 美 町	100.0	88.2	11.8	5.8	6.0	—	4.0	1.5	0.5	100.0	90.2	9.8	4.5	5.4	—	4.0	1.1	0.2
涌 谷 町	100.0	87.8	12.2	5.6	6.6	—	5.2	1.2	0.2	100.0	87.0	13.0	4.9	8.1	—	6.7	1.3	0.1
美 里 町	100.0	84.8	15.2	5.5	9.7	—	8.0	1.6	0.1	100.0	82.4	17.6	6.2	11.4	—	9.2	2.1	0.1
女 川 町	100.0	49.0	51.0	29.5	21.5	—	13.4	5.4	2.8	100.0	39.2	60.8	41.8	18.9	—	7.8	9.9	1.3
南 三 陸 町	100.0	68.3	31.7	21.2	10.5	—	7.3	2.1	1.0	100.0	59.0	41.0	35.2	5.8	—	3.1	2.4	0.3

2 市町村の転入・転出の状況

転入超過率は女川町が7.7%と最も高く、転出超過率は丸森町が7.0%と最も高い

転入者数を市町村別にみると、仙台市への転入者数が16万5356人と最も多く、次いで名取市（1万2778人）、多賀城市（1万1324人）などとなっている。また、平成27年と比べ転入者数が最も増加しているのは南三陸町で、564人の増加となっており、次いで気仙沼市（511人）、山元町（415人）など、9市町で増加している。

一方、転出者数についても、仙台市からの転出者数が14万9183人と最も多く、次いで石巻市（1万3374人）、大崎市（1万2894人）などとなっている。また、平成27年と比べ転出者数が最も増加しているのは、仙台市で5840人の増加となっており、次いで富谷市（941人）、大和町（820人）など、15市町村で増加している。

転入・転出超過率についてみると、転入超過率は、女川町が7.7%と最も高く、次いで山元町（2.5%）、大衡村（2.2%）など、11市町村で転入超過となっている。

転出超過率は、丸森町が7.0%と最も高く、次いで松島町（4.3%）、登米市（3.9%）など、23市町で転出超過となっている。

平成27年と比べると、南三陸町、山元町など1市4町で転出超過から転入超過へ転じ、富谷市、利府町など2市2町で転入超過から転出超過へ転じた。

（図10、図11、表10）

图 10 転入・転出超過数—市町村（平成 27 年，令和 2 年）

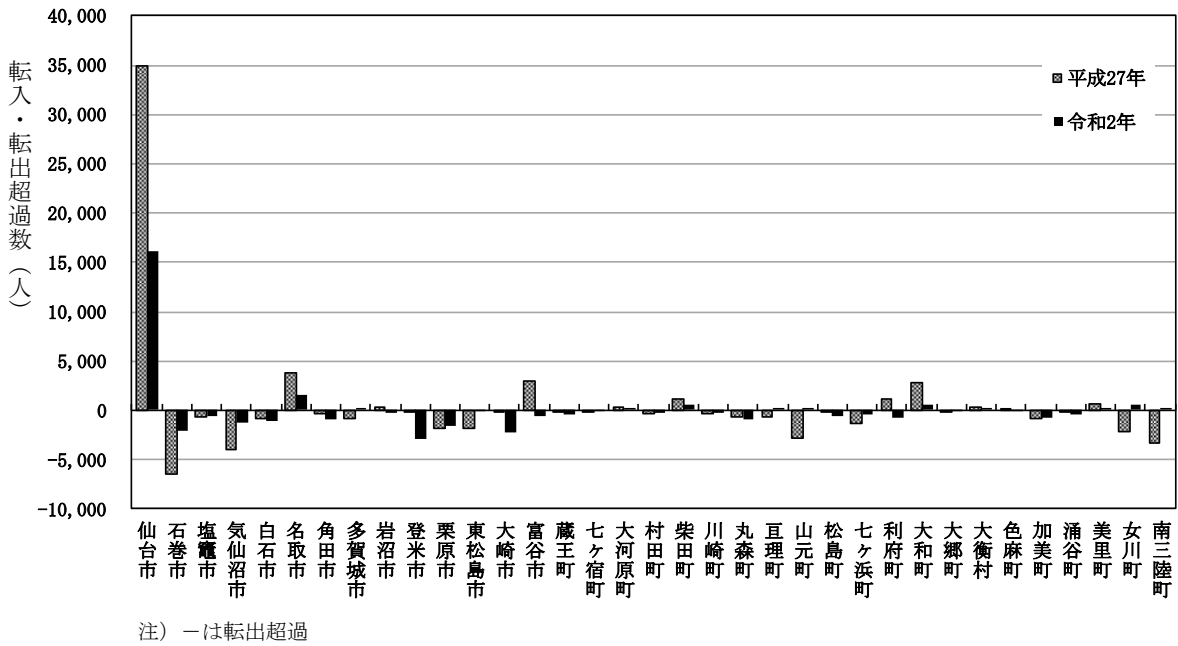


图 11 転入・転出超過率—市町村（平成 27 年，令和 2 年）

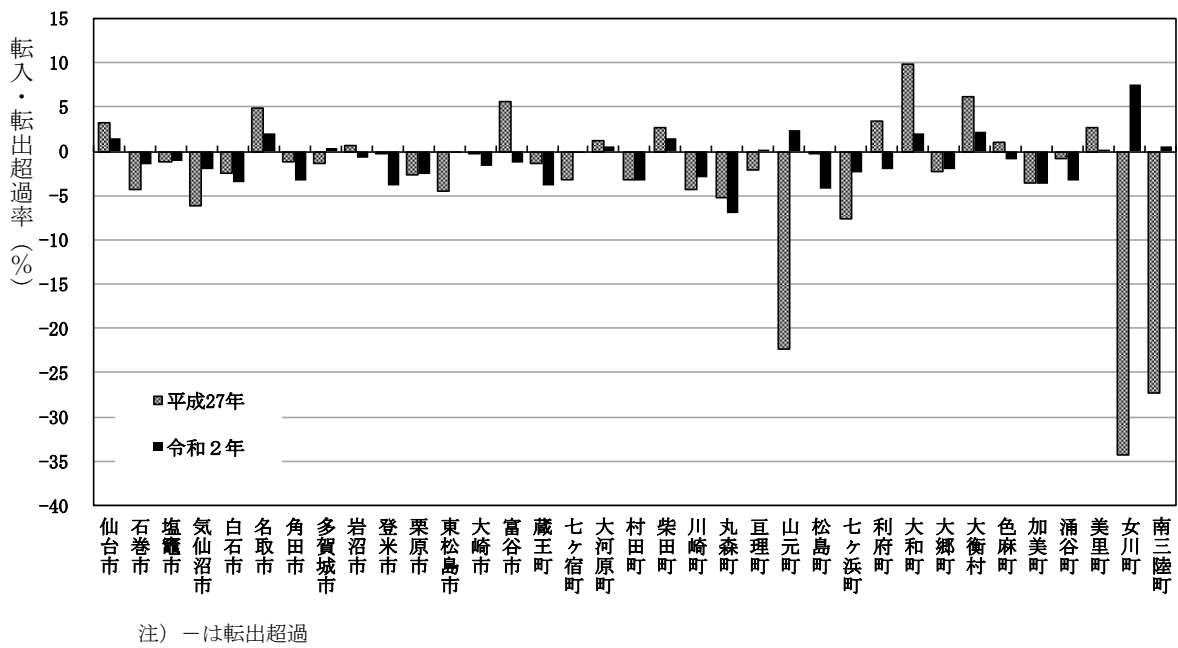


表 10 転入者数, 転出者数, 転入・転出超過数及び転入・転出超過率

—市町村 (平成 27 年, 令和 2 年)

市町村	転入者数				転出者数				転入・転出超過数 (-は転出超過)		転入・転出超過率 (-は転出超過) (%)	
	令和2年	平成27年	増減数	増減率 (%)	令和2年	平成27年	増減数	増減率 (%)	令和2年	平成27年	令和2年	平成27年
仙 台 市	165,356	178,364	-13,008	-7.3	149,183	143,343	5,840	4.1	16,173	35,021	1.5	3.2
(青葉区)	71,527	79,287	-7,760	-9.8	66,469	60,090	6,379	10.6	5,058	19,197	1.6	6.2
(宮城野区)	44,302	43,604	698	1.6	41,549	41,002	547	1.3	2,753	2,602	1.4	1.3
(若林区)	32,225	28,252	3,973	14.1	25,199	25,637	-438	-1.7	7,026	2,615	5.0	2.0
(太白区)	43,094	44,297	-1,203	-2.7	38,302	37,116	1,186	3.2	4,792	7,181	2.0	3.2
(泉区)	32,578	39,999	-7,421	-18.6	36,034	36,573	-539	-1.5	-3,456	3,426	-1.6	1.6
石 巻 市	11,246	12,983	-1,737	-13.4	13,374	19,396	-6,022	-31.0	-2,128	-6,413	-1.5	-4.4
塩 竈 市	5,638	6,002	-364	-6.1	6,186	6,687	-501	-7.5	-548	-685	-1.0	-1.3
気 仙 沼 市	4,633	4,122	511	12.4	5,830	8,133	-2,303	-28.3	-1,197	-4,011	-2.0	-6.2
白 石 市	2,180	2,669	-489	-18.3	3,313	3,526	-213	-6.0	-1,133	-857	-3.5	-2.4
名 取 市	12,778	14,769	-1,991	-13.5	11,160	10,944	216	2.0	1,618	3,825	2.1	5.0
角 田 市	2,118	2,615	-497	-19.0	3,044	2,962	82	2.8	-926	-347	-3.3	-1.1
多 賀 城 市	11,324	11,654	-330	-2.8	11,103	12,486	-1,383	-11.1	221	-832	0.4	-1.3
岩 沼 市	6,081	7,045	-964	-13.7	6,396	6,715	-319	-4.8	-315	330	-0.7	0.7
登 米 市	3,740	6,209	-2,469	-39.8	6,683	6,367	316	5.0	-2,943	-158	-3.9	-0.2
栗 原 市	3,587	3,620	-33	-0.9	5,206	5,462	-256	-4.7	-1,619	-1,842	-2.5	-2.6
東 松 島 市	4,842	5,239	-397	-7.6	4,885	7,023	-2,138	-30.4	-43	-1,784	-0.1	-4.5
大 崎 市	10,708	12,483	-1,775	-14.2	12,894	12,588	306	2.4	-2,186	-105	-1.7	-0.1
富 谷 市	6,244	8,901	-2,657	-29.9	6,908	5,967	941	15.8	-664	2,934	-1.3	5.7
蔵 王 町	747	996	-249	-25.0	1,187	1,169	18	1.5	-440	-173	-3.9	-1.4
七 ヶ 宿 町	169	136	33	24.3	172	183	-11	-6.0	-3	-47	-0.2	-3.2
大 河 原 町	3,116	3,297	-181	-5.5	2,990	3,026	-36	-1.2	126	271	0.5	1.1
村 田 町	855	890	-35	-3.9	1,200	1,253	-53	-4.2	-345	-363	-3.2	-3.2
柴 田 町	5,710	6,196	-486	-7.8	5,172	5,141	31	0.6	538	1,055	1.4	2.7
川 崎 町	592	563	29	5.2	837	952	-115	-12.1	-245	-389	-2.9	-4.2
丸 森 町	515	699	-184	-26.3	1,373	1,441	-68	-4.7	-858	-742	-7.0	-5.3
亘 理 町	3,333	3,798	-465	-12.2	3,301	4,481	-1,180	-26.3	32	-683	0.1	-2.0
山 元 町	1,446	1,031	415	40.3	1,145	3,790	-2,645	-69.8	301	-2,759	2.5	-22.4
松 島 町	1,091	1,558	-467	-30.0	1,663	1,577	86	5.5	-572	-19	-4.3	-0.1
七 ヶ 浜 町	1,743	1,423	320	22.5	2,182	2,831	-649	-22.9	-439	-1,408	-2.4	-7.5
利 府 町	4,304	5,709	-1,405	-24.6	5,029	4,490	539	12.0	-725	1,219	-2.1	3.4
大 和 町	4,831	6,206	-1,375	-22.2	4,252	3,432	820	23.9	579	2,774	2.0	9.8
大 郷 町	594	589	5	0.8	756	781	-25	-3.2	-162	-192	-2.1	-2.3
大 衡 村	710	841	-131	-15.6	582	483	99	20.5	128	358	2.2	6.3
色 麻 町	587	694	-107	-15.4	646	619	27	4.4	-59	75	-0.9	1.0
加 美 町	1,314	1,276	38	3.0	2,111	2,142	-31	-1.4	-797	-866	-3.6	-3.6
涌 谷 町	1,013	1,351	-338	-25.0	1,526	1,495	31	2.1	-513	-144	-3.3	-0.9
美 里 町	2,327	2,828	-501	-17.7	2,325	2,142	183	8.5	2	686	0.0	2.8
女 川 町	1,385	1,200	185	15.4	893	3,376	-2,483	-73.5	492	-2,176	7.7	-34.4
南 三 陸 町	1,282	718	564	78.6	1,210	4,105	-2,895	-70.5	72	-3,387	0.6	-27.4

3 広域圏の転入・転出の状況

転入超過率は仙台都市圏が最も高く、転出超過率は登米広域圏が最も高い

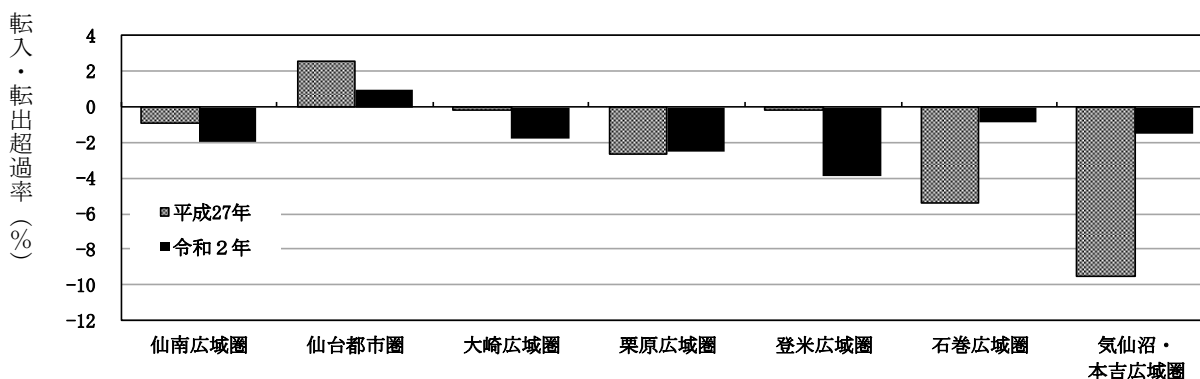
転入者数を広域圏別にみると、仙台都市圏への転入者数が22万5473人と最も多く、次いで石巻広域圏（1万7473人）、仙南広域圏（1万6002人）などとなっている。また、平成27年と比べ転入者数が最も減少しているのは仙台都市圏で、2万2417人の減少となっており、減少率でみると登米広域圏が39.8%と最も高くなっている。

一方、転出者数についても仙台都市圏からの転出者数が20万9846人と最も多く、次いで大崎広域圏（1万9502人）、仙南広域圏（1万9288人）などとなっている。また、平成27年と比べ転出者数が減少しているのは、石巻広域圏及び気仙沼・本吉広域圏などで、減少数は石巻広域圏で1万643人、気仙沼・本吉広域圏で5198人の減少などとなっており、減少率でみると、石巻広域圏で35.7%、気仙沼・本吉広域圏で42.5%などとなっている。

転入・転出超過率をみると、転入超過率は仙台都市圏が1.0%となっている。転出超過率は、登米広域圏が3.9%と最も高く、次いで栗原広域圏（2.5%）、仙南広域圏（2.0%）などとなっている。また、転入・転出超過率を平成27年と比べると、仙台都市圏では転入超過率が縮小しており、気仙沼・本吉広域圏、石巻広域圏及び栗原広域圏では転出超過率が縮小している一方、仙南広域圏、大崎広域圏及び登米広域圏で転出超過率が拡大している。

（図12、表11）

図12 転入・転出超過率—広域圏（平成27年、令和2年）



注) -は転出超過

表 11 転入者数, 転出者数, 転入・転出超過数及び転入・転出超過率

－広域圏 (平成 27 年, 令和 2 年)

地 域	転入者数				転出者数				転入・転出超過数 (－は転出超過)		転入・転出超過率 (－は転出超過)	
	令和 2 年	平成27年	増減数	増減率 (%)	令和 2 年	平成27年	増減数	増減率 (%)	令和 2 年	平成27年	令和 2 年	平成27年
仙 南 広 域 圏	16,002	18,061	-2,059	-11.4	19,288	19,653	-365	-1.9	-3,286	-1,592	-2.0	-0.9
仙 台 都 市 圏	225,473	247,890	-22,417	-9.0	209,846	208,007	1,839	0.9	15,627	39,883	1.0	2.6
大 崎 広 域 圏	15,949	18,632	-2,683	-14.4	19,502	18,986	516	2.7	-3,553	-354	-1.8	-0.2
栗 原 広 域 圏	3,587	3,620	-33	-0.9	5,206	5,462	-256	-4.7	-1,619	-1,842	-2.5	-2.6
登 米 広 域 圏	3,740	6,209	-2,469	-39.8	6,683	6,367	316	5.0	-2,943	-158	-3.9	-0.2
石 巻 広 域 圏	17,473	19,422	-1,949	-10.0	19,152	29,795	-10,643	-35.7	-1,679	-10,373	-0.9	-5.4
気仙沼・本吉広域圏	5,915	4,840	1,075	22.2	7,040	12,238	-5,198	-42.5	-1,125	-7,398	-1.5	-9.6

注) 仙南広域圏: 白石市・角田市・刈田郡・柴田郡・伊具郡(2市7町)

仙台都市圏: 仙台市・塩竈市・名取市・多賀城市・岩沼市・富谷市・亶理郡・宮城郡・黒川郡(6市7町1村)

大崎広域圏: 大崎市・加美郡・遠田郡(1市4町)

栗原広域圏: 栗原市

登米広域圏: 登米市

石巻広域圏: 石巻市・東松島市・牡鹿郡(2市1町)

気仙沼・本吉広域圏: 気仙沼市・本吉郡(1市1町)

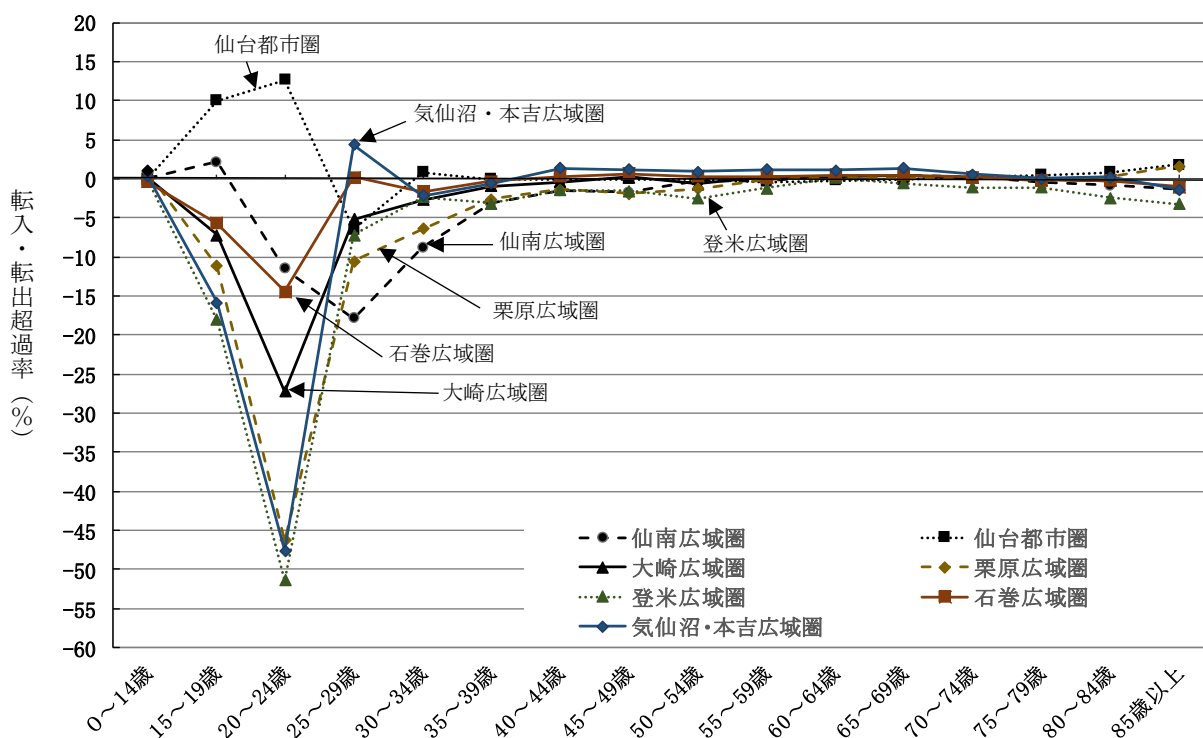
4 広域圏の年齢別転入・転出の状況

20～24歳では仙台都市圏のみ転入超過

広域圏別の転入超過率を年齢（5歳階級）別に15歳以上についてみると、仙台都市圏では25～29歳，45～49歳，50歳代及び60歳代を除く年齢階級で転入超過などとなり，転入超過率は20～24歳で最も高くなっている。一方，転出超過率をみると，登米広域圏では60～64歳を除くすべての年齢階級で転出超過となり，転出超過率は20～24歳で最も高くなっている。また，いずれの地域においても転出超過率は20歳代で最も高くなっている。

(図13, 表12)

図13 年齢（5歳階級）別人口における転入・転出超過率—広域圏（令和2年）



注) -は転出超過

表12 年齢（5歳階級）別人口における転入者数，転出者数，転入・転出超過数
及び転入・転出超過率—広域圏（令和2年）

(人)

年齢 (5歳階級)	仙南広域圏				仙台都市圏				大崎広域圏			
	転入者数	転出者数	転入・ 転出 超過数	転入・ 転出 超過率 (%)	転入者数	転出者数	転入・ 転出 超過数	転入・ 転出 超過率 (%)	転入者数	転出者数	転入・ 転出 超過数	転入・ 転出 超過率 (%)
総数	16,002	19,288	-3,286	-2.0	225,473	209,846	15,627	1.0	15,949	19,502	-3,553	-1.8
0～14歳	1,789	1,776	13	0.1	22,892	22,777	115	0.1	1,847	1,845	2	0.0
15～19歳	1,105	932	173	2.2	15,035	7,383	7,652	10.0	564	1,201	-637	-7.2
20～24歳	2,392	3,243	-851	-11.5	39,688	28,323	11,365	12.6	1,494	3,414	-1,920	-27.2
25～29歳	1,953	3,084	-1,131	-17.9	32,084	37,581	-5,497	-6.5	2,422	2,827	-405	-5.1
30～34歳	1,830	2,500	-670	-8.8	27,262	26,513	749	0.8	2,223	2,482	-259	-2.7
35～39歳	1,543	1,839	-296	-3.2	21,135	21,170	-35	0.0	1,722	1,831	-109	-0.9
40～44歳	1,137	1,295	-158	-1.5	16,157	16,186	-29	0.0	1,273	1,329	-56	-0.4
45～49歳	918	1,105	-187	-1.7	14,480	14,548	-68	-0.1	993	967	26	0.2
50～54歳	686	718	-32	-0.3	11,166	11,290	-124	-0.1	699	770	-71	-0.6
55～59歳	550	575	-25	-0.2	7,887	8,275	-388	-0.4	571	542	29	0.2
60～64歳	521	470	51	0.4	4,846	5,056	-210	-0.2	476	441	35	0.2
65～69歳	426	375	51	0.4	3,163	3,262	-99	-0.1	389	323	66	0.4
70～74歳	291	248	43	0.3	2,369	2,137	232	0.2	285	264	21	0.1
75～79歳	181	225	-44	-0.5	1,748	1,387	361	0.5	195	205	-10	-0.1
80～84歳	176	247	-71	-0.9	1,739	1,266	473	0.9	241	262	-21	-0.2
85歳以上	504	656	-152	-1.4	3,822	2,692	1,130	1.8	555	799	-244	-2.0

年齢 (5歳階級)	栗原広域圏				登米広域圏				石巻広域圏			
	転入者数	転出者数	転入・ 転出 超過数	転入・ 転出 超過率 (%)	転入者数	転出者数	転入・ 転出 超過数	転入・ 転出 超過率 (%)	転入者数	転出者数	転入・ 転出 超過数	転入・ 転出 超過率 (%)
総数	3,587	5,206	-1,619	-2.5	3,740	6,683	-2,943	-3.9	17,473	19,152	-1,679	-0.9
0～14歳	421	368	53	0.8	518	539	-21	-0.3	1,762	1,839	-77	-0.4
15～19歳	156	442	-286	-11.1	55	624	-569	-18.0	686	1,154	-468	-5.7
20～24歳	502	1,407	-905	-46.3	321	1,536	-1,215	-51.4	2,226	3,397	-1,171	-14.4
25～29歳	497	704	-207	-10.5	574	761	-187	-7.2	2,562	2,546	16	0.2
30～34歳	391	550	-159	-6.4	567	647	-80	-2.4	2,154	2,296	-142	-1.6
35～39歳	353	439	-86	-2.6	425	563	-138	-3.1	1,721	1,751	-30	-0.3
40～44歳	232	283	-51	-1.4	334	408	-74	-1.5	1,299	1,265	34	0.3
45～49歳	152	220	-68	-1.9	212	282	-70	-1.6	1,150	1,068	82	0.6
50～54歳	123	163	-40	-1.3	169	269	-100	-2.5	884	851	33	0.3
55～59歳	136	141	-5	-0.1	154	215	-61	-1.2	702	672	30	0.2
60～64歳	104	88	16	0.3	142	135	7	0.1	610	546	64	0.5
65～69歳	100	93	7	0.1	92	133	-41	-0.6	464	393	71	0.5
70～74歳	88	73	15	0.3	43	110	-67	-1.1	370	342	28	0.2
75～79歳	42	53	-11	-0.3	42	83	-41	-1.1	264	281	-17	-0.1
80～84歳	72	62	10	0.2	32	130	-98	-2.4	201	222	-21	-0.2
85歳以上	218	120	98	1.6	60	248	-188	-3.2	418	529	-111	-1.0

年齢 (5歳階級)	気仙沼・本吉広域圏			
	転入者数	転出者数	転入・ 転出 超過数	転入・ 転出 超過率 (%)
総数	5,915	7,040	-1,125	-1.5
0～14歳	479	457	22	0.3
15～19歳	265	715	-450	-15.9
20～24歳	680	1,764	-1,084	-47.6
25～29歳	867	756	111	4.4
30～34歳	641	698	-57	-2.2
35～39歳	458	476	-18	-0.6
40～44歳	420	365	55	1.4
45～49歳	424	365	59	1.2
50～54歳	346	300	46	0.9
55～59歳	321	255	66	1.2
60～64歳	264	202	62	1.1
65～69歳	233	149	84	1.3
70～74歳	159	120	39	0.6
75～79歳	102	98	4	0.1
80～84歳	109	99	10	0.2
85歳以上	147	221	-74	-1.4

注1) 5歳未満については，出生後にふだん住んでいた場所による。

注2) -は転出超過

5 市町村間の移動人口（県内移動の状況）

市町村間の移動人口が最も多いのは仙台市から名取市への移動で、そのうち 30～34 歳の移動人口の割合が最も高い

市町村間の移動人口をみると、仙台市から名取市への移動人口が 5101 人と最も多く、次いで、名取市から仙台市（4025 人）、仙台市から多賀城市（3339 人）などとなっている。

移動人口の多い上位 20 市町において、年齢 5 歳階級別の移動人口の割合を 15 歳以上についてみると、多くの市町で 30～34 歳又は 20 歳代の割合が最も高くなっている。

（表 13）

表 13 年齢（5 歳階級）、市町村別移動人口（上位 20 市町）（令和 2 年）

順位	5 年前に住んでいた場所	現在住んでいる場所	実数（人）																
			総数	0～14 歳	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85歳以上
1	仙台市	名取市	5,101	832	170	252	540	826	739	461	324	208	183	146	125	88	69	51	87
2	名取市	仙台市	4,025	406	118	298	595	568	413	319	242	198	153	130	112	85	86	111	191
3	仙台市	多賀城市	3,339	487	111	266	495	543	419	281	211	141	109	69	44	41	39	30	53
4	石巻市	仙台市	3,301	250	207	704	542	419	268	162	148	132	112	71	55	50	45	41	95
5	多賀城市	仙台市	3,236	405	71	259	509	487	385	287	228	142	104	67	54	61	38	49	90
6	大崎市	仙台市	3,225	274	168	574	567	496	306	204	150	112	72	61	59	33	40	30	79
7	仙台市	富谷市	2,506	483	45	89	265	448	399	225	146	81	74	37	35	42	21	39	77
8	富谷市	仙台市	2,466	223	83	243	397	346	289	183	171	119	91	52	76	53	42	35	63
9	仙台市	石巻市	2,098	201	31	233	366	317	234	141	155	106	86	75	67	44	10	10	22
10	仙台市	大崎市	1,884	184	45	171	387	305	236	143	116	66	71	65	38	22	11	8	16
11	塩竈市	仙台市	1,791	112	47	191	354	278	155	107	73	87	57	52	43	37	41	41	116
12	利府町	仙台市	1,715	185	55	142	273	305	197	140	91	50	61	56	33	31	21	16	59
13	気仙沼市	仙台市	1,700	105	232	496	206	164	93	77	81	60	39	22	24	25	21	21	34
14	登米市	仙台市	1,700	123	222	497	196	164	135	90	53	51	43	18	13	16	11	15	53
15	仙台市	塩竈市	1,594	260	36	84	175	226	218	146	103	87	64	63	32	37	14	23	26
16	石巻市	東松島市	1,565	186	66	101	147	222	173	110	93	95	65	63	53	46	29	35	81
17	仙台市	岩沼市	1,562	241	60	103	204	261	238	147	111	53	35	38	17	22	13	5	14
18	岩沼市	仙台市	1,491	118	59	132	269	243	178	103	90	60	44	47	32	21	19	20	56
19	仙台市	利府町	1,453	286	40	65	181	259	213	150	75	33	29	23	21	15	12	10	41
20	栗原市	仙台市	1,380	58	143	473	179	136	85	50	62	34	38	11	15	21	10	25	40

順位	5 年前に住んでいた場所	現在住んでいる場所	割合（%）																
			総数	0～14 歳	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85歳以上
1	仙台市	名取市	100.0	16.3	3.3	4.9	10.6	16.2	14.5	9.0	6.4	4.1	3.6	2.9	2.5	1.7	1.4	1.0	1.7
2	名取市	仙台市	100.0	10.1	2.9	7.4	14.8	14.1	10.3	7.9	6.0	4.9	3.8	3.2	2.8	2.1	2.1	2.8	4.7
3	仙台市	多賀城市	100.0	14.6	3.3	8.0	14.8	16.3	12.5	8.4	6.3	4.2	3.3	2.1	1.3	1.2	1.2	0.9	1.6
4	石巻市	仙台市	100.0	7.6	6.3	21.3	16.4	12.7	8.1	4.9	4.5	4.0	3.4	2.2	1.7	1.5	1.4	1.2	2.9
5	多賀城市	仙台市	100.0	12.5	2.2	8.0	15.7	15.0	11.9	8.9	7.0	4.4	3.2	2.1	1.7	1.9	1.2	1.5	2.8
6	大崎市	仙台市	100.0	8.5	5.2	17.8	17.6	15.4	9.5	6.3	4.7	3.5	2.2	1.9	1.8	1.0	1.2	0.9	2.4
7	仙台市	富谷市	100.0	19.3	1.8	3.6	10.6	17.9	15.9	9.0	5.8	3.2	3.0	1.5	1.4	1.7	0.8	1.6	3.1
8	富谷市	仙台市	100.0	9.0	3.4	9.9	16.1	14.0	11.7	7.4	6.9	4.8	3.7	2.1	3.1	2.1	1.7	1.4	2.6
9	仙台市	石巻市	100.0	9.6	1.5	11.1	17.4	15.1	11.2	6.7	7.4	5.1	4.1	3.6	3.2	2.1	0.5	0.5	1.0
10	仙台市	大崎市	100.0	9.8	2.4	9.1	20.5	16.2	12.5	7.6	6.2	3.5	3.8	3.5	2.0	1.2	0.6	0.4	0.8
11	塩竈市	仙台市	100.0	6.3	2.6	10.7	19.8	15.5	8.7	6.0	4.1	4.9	3.2	2.9	2.4	2.1	2.3	2.3	6.5
12	利府町	仙台市	100.0	10.8	3.2	8.3	15.9	17.8	11.5	8.2	5.3	2.9	3.6	3.3	1.9	1.8	1.2	0.9	3.4
13	気仙沼市	仙台市	100.0	6.2	13.6	29.2	12.1	9.6	5.5	4.5	4.8	3.5	2.3	1.3	1.4	1.5	1.2	1.2	2.0
14	登米市	仙台市	100.0	7.2	13.1	29.2	11.5	9.6	7.9	5.3	3.1	3.0	2.5	1.1	0.8	0.9	0.6	0.9	3.1
15	仙台市	塩竈市	100.0	16.3	2.3	5.3	11.0	14.2	13.7	9.2	6.5	5.5	4.0	4.0	2.0	2.3	0.9	1.4	1.6
16	石巻市	東松島市	100.0	11.9	4.2	6.5	9.4	14.2	11.1	7.0	5.9	6.1	4.2	4.0	3.4	2.9	1.9	2.2	5.2
17	仙台市	岩沼市	100.0	15.4	3.8	6.6	13.1	16.7	15.2	9.4	7.1	3.4	2.2	2.4	1.1	1.4	0.8	0.3	0.9
18	岩沼市	仙台市	100.0	7.9	4.0	8.9	18.0	16.3	11.9	6.9	6.0	4.0	3.0	3.2	2.1	1.4	1.3	1.3	3.8
19	仙台市	利府町	100.0	19.7	2.8	4.5	12.5	17.8	14.7	10.3	5.2	2.3	2.0	1.6	1.4	1.0	0.8	0.7	2.8
20	栗原市	仙台市	100.0	4.2	10.4	34.3	13.0	9.9	6.2	3.6	4.5	2.5	2.8	0.8	1.1	1.5	0.7	1.8	2.9

注）5 歳未満については、出生後にふだん住んでいた場所による。

市町村別の主な転出先（県内）は、仙台市又は隣接する市が多い

5年前に住んでいた市町村別に転出先の市町村をみると、29市町村で仙台市へ転出した者が最も多くなっている。また、仙台市以外への転出先をみると、隣接する市への転出が多くなっている。（表14）

表14 市町村別の主な転出先（上位3位）（令和2年）

5年前に住んでいた市町村	転出者数 (人)	県内他市町村への 転出者数	現在住んでいる場所（転出先の主な市町村）						他県への 転出者数			
			1位			2位				3位		
			市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数		市町村	人数	
仙台市	149,183	29,210	名取市	5,101	多賀城市	3,339	富谷市	2,506	119,973			
石巻市	13,374	7,875	仙台市	3,301	東松島市	1,565	女川町	462	5,499			
塩竈市	6,186	4,139	仙台市	1,791	多賀城市	813	利府町	427	2,047			
気仙沼市	5,830	3,031	仙台市	1,700	石巻市	221	登米市	154	2,799			
白石市	3,313	2,026	仙台市	653	大河原町	310	柴田町	185	1,287			
名取市	11,160	6,223	仙台市	4,025	岩沼市	539	亘理町	325	4,937			
角田市	3,044	2,070	仙台市	603	柴田町	357	大河原町	201	974			
多賀城市	11,103	6,194	仙台市	3,236	塩竈市	984	七ヶ浜町	390	4,909			
岩沼市	6,396	3,779	仙台市	1,491	名取市	731	亘理町	435	2,617			
登米市	6,683	4,450	仙台市	1,700	南三陸町	484	大崎市	412	2,233			
栗原市	5,206	3,142	仙台市	1,380	大崎市	651	登米市	299	2,064			
東松島市	4,885	2,833	石巻市	1,208	仙台市	777	多賀城市	128	2,052			
大崎市	12,894	7,715	仙台市	3,225	美里町	760	栗原市	400	5,179			
富谷市	6,908	3,864	仙台市	2,466	大和町	448	大崎市	144	3,044			
蔵王町	1,187	828	仙台市	228	大河原町	149	白石市	103	359			
七ヶ宿町	172	120	仙台市	39	白石市	32	大河原町	13	52			
大河原町	2,990	2,066	仙台市	570	柴田町	409	名取市	165	924			
村田町	1,200	887	仙台市	235	柴田町	175	大河原町	168	313			
柴田町	5,172	2,947	仙台市	1,008	大河原町	421	名取市	284	2,225			
川崎町	837	616	仙台市	359	大河原町	46	柴田町	32	221			
丸森町	1,373	1,001	角田市	317	仙台市	212	柴田町	107	372			
亘理町	3,301	2,082	仙台市	828	岩沼市	318	名取市	239	1,219			
山元町	1,145	755	仙台市	256	亘理町	174	名取市	81	390			
松島町	1,663	1,172	仙台市	436	多賀城市	125	塩竈市	118	491			
七ヶ浜町	2,182	1,487	仙台市	579	多賀城市	465	塩竈市	167	695			
利府町	5,029	3,245	仙台市	1,715	塩竈市	399	多賀城市	305	1,784			
大和町	4,252	2,779	仙台市	1,279	富谷市	477	大崎市	221	1,473			
大郷町	756	590	仙台市	210	大和町	104	大崎市	43	166			
大衡村	582	422	仙台市	157	大和町	80	富谷市	45	160			
色麻町	646	504	仙台市	121	大崎市	119	加美町	87	142			
加美町	2,111	1,590	大崎市	523	仙台市	466	色麻町	187	521			
涌谷町	1,526	1,145	仙台市	253	大崎市	217	美里町	201	381			
美里町	2,325	1,649	大崎市	544	仙台市	477	石巻市	114	676			
女川町	893	637	石巻市	345	仙台市	196	東松島市	35	256			
南三陸町	1,210	917	仙台市	331	登米市	222	気仙沼市	124	293			